

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

湯さん館

利用料上限額改定経緯は

安定経営のため見直す

問 温泉施設条例の利用料上限額改定の議案が提出されたがその経緯は。
町長 びんぐし湯さん館の運営は、令和元年10月の利用料改定後、新型コロナウイルス感染症の影響やエネルギー・原材料価格の高騰などと、近年は人件費の上昇も加わり、現行の料金体制では持続的運営が困難な状況



やましろう しゅんいち 議員
山城 峻一 議員

問 新たな利用料の周知方法は。
町長 条例はあくまでも利用料上限額を定めるものであり、新たな利用料は指定管理者である坂城町振興公社において決定される。湯さん館のホームページやフェイスブック、施設内での掲示物等に加え、町でもホームページや広報誌などで周

知していき。
問 今後、施設利用者を増やすための取り組みは。
町長 坂城町振興公社では、季節やイベントに

知していき。
じた新たな企画や情報発信の強化などにより利用促進を目指し、町でも施設の魅力とサービス向上に一層努めていく。



びんぐし湯さん館

質問項目

やましろう しゅんいち 議員 7ページ

- ① 国道18号バイパス建設について
- ② びんぐし湯さん館について

なかもら ただやす 議員 8ページ

- ① 住宅の耐震対策について
- ② 旧家の久保家住宅について

おおもり げいひこ 議員 8ページ

- ① 誰もが差別を受けないために
- ② 有機農業の行方は
- ③ 千曲坂城クラブについて

みや いり たけし 議員 9ページ

- ① 新複合施設建設について
- ② 高齢者を取り巻く状況について

あさくら くにかつ 議員 9ページ

- ① 米の需給調整について
- ② 放置竹林について

みず いで こうせい 議員 10ページ

- ① 防犯活動について
- ② 特色ある教育について

ほし てつ お 議員 10ページ

- ① 安心・安全の町づくりに向けて

おびなた しんや 議員 11ページ

- ① 町道の改良事業について
- ② 学校、保育現場の給食について

旧久保家住宅

今後の活用は

調査結果を精査検討



なかむら ただやす 議員
中村 忠靖

住宅の耐震対策について
慮し、今後もより良いものとなるよう検討していく。

問 他自治体で実施している「耐震シェルター」及び「耐震ベッド」について、町の評価・考えは。

建設課長 耐震シェルターや耐震ベッドは、地震発生時に身を守る有効手段ではあるが、家屋倒壊後の救出に時間を要するケースや、それ以外の被災での安全確保が難しいなどの懸念もある。
また、住宅の倒壊を防止し、生命だけでなく、住居や家財を守ることができ、かつ、被災後、生活を再建することまでを考慮すると耐震補強工事が望ましいと考えている。



旧久保家住宅

問 旧久保家住宅の今後の活用方針・考えは。
町長 現在、耐震診断を含めた詳細な建物調査を実施しており、来年度中にまとめられる予定である。この成果物をもとに、文化財指定を進めつつ、活用方法を考えたい。
周辺には、びんぐし公園やびんぐし湯さん館など多くの人が集うエリアがあり、御厨社古墳や十六夜観月殿の町指定文化財もある。旧久保家住宅の歴史的建造物としての特性を生かしつつ、周辺全体の環境等を考



おおもり しげのぶ 議員
大森 茂彦

部落解放の町宣言撤廃を

現段階では考えていない

同和問題

問 昭和35年から33年間実施してきた国による同和特別対策事業は「初期の目的を達成したとして、これ以上の特別対策は国民の理解を得られず、むしろ有害」と総括。この事業を終了し一般対策に移行した。
民間運動団体である部

町の宣言一覧

交通安全都市宣言	昭和37年2月15日 議決宣言
公害防止の町宣言	昭和46年3月23日 議決宣言
部落解放の町宣言	昭和50年1月26日 宣言
非核平和の町宣言	昭和60年9月27日 議決宣言
青色申告と振替納税の町宣言	昭和62年9月28日 議決宣言
ゆとり宣言	平成2年6月20日 議決宣言

「部落解放の町」宣言のみが、議決となっていない

問 部落解放同盟の補助金100万円をやめるべきでは。

町長 「部落差別の解消の推進に関する法律」の基本理念に基づく活動に対する支援であり、今後必要な支援をする。

問 隣保館の名称変更はできないか。

町長 施設利用者や地域住民などから、ご意見を伺いながら研究したい。

問 「部落解放の町宣言」を撤廃し、例えば「誰もが差別されない町宣言」にしてはどうか。これら

続けることは永久に続けることになる。

町長 「部落開放の町宣言」は部落差別の根絶とすべての人が尊重され、安心して暮らせる明るく住みよい町の実現を目指し、昭和50年「第1回部落解放町民大会」においてこの宣言文が朗読され、満場一致で採択したものである。

今も依然として部落差別が社会に根強く残っている現状を踏まえると、現段階では撤廃は考えていない。

新複合施設

福祉避難所として活用は 対象者範囲や指定を検討



みやい たけし 議員
宮入 健誠

問 災害時の避難所として活用を考えた経緯は。
町長 町地域防災計画に

「救急活動拠点施設」、老人福祉センターは「要援護者収容施設」に指定されており、新複合施設建設後にはこの二つの施設が統合される。医療や福祉に係る人的・物的な対応が比較的容易にできる



住民説明会

状況にある事から、一般の方を受け入れる避難所とは区分した福祉避難所としての役割が期待できる。また、福祉避難所については、主に高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の受け入れが想定され、内閣府が定める基準では要配慮者の円滑な利用を確保するための措置が講じられ、相談等を受けられることができる支援体制の整備や、要配慮者を滞在させるために必要な居室が可能な限り確保することとされている。新複合施設においては、耐震性や耐火性、耐久性など施設の安全性はもとより、バリアフリーで空調も完備し、停電時に備えた非常用発電機を整備するほか、水や食料など一定の備蓄についても考えて参りたい。

今後、具体的な対象者の範囲や避難所の指定について福祉関係部局や防災担当部局も交えて検討を進める必要がある。

米の安定供給

需給調整に対する考えは 国の動向を注視していく



あさくら くにかつ 議員
朝倉 国勝

問 近年の異常気象の影響で水稻栽培においても高温障害が発生し、令和5年産の米は大幅に減産となったことにより、米価の高騰や供給不足、価格の乱高下といった状況が見られる。政府は減反政策の見直しを含め対応の検討を進めているが、

需給調整の廃止や米価安定に対する町の考えは。
町長 米の需給調整は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に基づき、国・県・町が足並みを揃えて進めている施策で、過剰な供給を未然に防ぎ適正量を生産することによって需給バランスを保ち、米価の安定を図ることを目的としている。

国では米の需給を緩和させるため備蓄米の放出を行い、米価格の引き下げに向けて取り組んでいるほか、6月に設置された米政策の在り方を議論する関係閣僚会議では、これまでの米政策の課題の洗い出しを行う中で、来年夏に具体的な方向性が集約される予定である。現在の米不足の状況から国の需給調整制度については、何らかの対応が必要ではないかと考える。また、この制度も変わり目の時期に来ていると思われるので、国の動向について注意深く見ていく。



防犯活動

防犯カメラ設置促進は

町防犯協会総会で周知



みずい こんせい 議員

問 防犯カメラを設置する上で、取扱管理に関する町の考えは。

町長 犯罪抑止や安心感の向上、トラブル時行動把握などを目的に「坂城町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」に基づき、管理上必要箇所に設置し、プライバシーを



4人1グループでの授業改善

侵害しないよう十分に配慮している。今後も新たな施設など必要と考えられる箇所に設置の検討を行う。

問 令和7年度長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業に関する周知について町の対応は。

住民環境課長 長野県警察や千曲警察署においてホームページ等により周知を行っている。町としても今後、開催予定の坂城町防犯協会定期総会を通じて周知を考えている。

学びの改革リーディング校について

問 本年度よりリーディング校指定を受け、取り組みが開始されたが期待される成果は。

教育長 4人1グループでの協働的な学びを軸とした学習形態へと転換を進めている。自己有用感を実感し、自己肯定感を高めることで変化の激しい社会でも、他者と協働しながらしなやかに生き抜く力を身につけることが期待される。



ほし てつお 議員

安全対策

安心安全なまちづくりを

環境の整備に努める

問 町の防犯対策は。
住民環境課長 防犯灯の設置・維持管理、防犯パトロール、防犯啓発活動を実施し、関係団体などと連携しながら、地域ぐるみで誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めている。近年増加する電話でお金詐欺への対策と

して、高齢者を対象に「特殊詐欺防止装置取付補助事業」を行い、防犯意識の向上と啓発に努めている。

問 町の交通安全対策
町長 交通安全運動の推進や広報啓発、交通安全教室の開催など、地域の

交通安全防止と安全な交通社会の実現に努めている。

また、季節ごとの交通安全運動では、関係団体と協力し、安全運転の呼びかけや街頭啓発を行い、事故防止を図る。合わせて高齢者の交通安全意識の向上や免許自主返納制度の周知を行う。カーブミラーの設置などハード整備も進め、交通事故ゼロを目指して関係機関・地域と連携し、安全で安心な交通環境の整備に努める。



交通安全

町道事業計画

今年度の道路改良事業は

拡幅と補償修繕を実施



おひなた しんや 議員
大日向 進也

問 令和7年度に行われる工事概要と事業規模は。

建設課長 町道A01号線道路改良工事については、金井工区と保地工区の2ヶ所の道路拡幅工事を進めている。金井工区は山金井交差点から北へ約150m付近まで完成している。

また、保地工区は、用地



舗装修繕予定（御所沢）

買収を終えた箇所より順次工事着手予定となる。

町道A06号線村上工区は、網掛地区の県道長野上田線交差点から大望橋方面に向けて約210m付近まで完成している。

今年度は、残り100m区間の構造物等の工事を行う予定としているが、周囲が水田のため、農閑期の工事に限定されることや、国道バイパス工事との工程調整も必要のため、事業完了まで数年かかる見込み。

問 町道A01号線舗装修繕事業の内容は。

建設課長 坂城高校南側のコンビニエンスストア付近から約110mの実施を予定している。

一部道路幅員が狭い箇所について、地権者の協力を得ることが出来たため、舗装修繕工事と合わせて車道部分の幅員を7mへ拡幅する予定としている。

表紙の写真



7月13日(日)に行われた坂城神社祇園祭において、横町区では大獅子の舞を披露した。

数年前に横町区民有志で保存会を発足し、現在週一回お囃子や舞の練習を行っている。

「お囃子」と「舞」併せての披露は今回の祇園祭が初となる。

当日は晴天に恵まれ、多くの区民の皆様に見守られる中で開催することが出来た。

今回のお披露目により、歴史ある横町区大獅子の新たな一歩を刻むことが出来たのではないかと思います。

おひなた しんや
(文：大日向 進也)

議 会 日 誌 (主なもの)

4月	4・10・16日	広報発行対策特別委員会
	18日	議会全員協議会
	21日	葛尾組合リサイクルセンター建設工事起工式
	23日	町植樹祭
	25日	町例月現金出納検査
	28日	議会全員協議会
5月	8日	上田地域広域連合議会代表者会
	16日	町土地開発公社理事会
	20日	議会運営委員会・議会全員協議会第2回臨時会
	23日	上田地域広域連合議会臨時会
	24日	第20回ばら祭り開祭式
	26日	町例月現金出納検査 (公財)さかきテクノセンター理事会
	30日	議会運営委員会
6月	1日	町内小学校運動会
	4日	町村議会議長会臨時総会
	5日	第48回町民まつり実行委員会
	9~20日	6月議会定例会
	9・20・25日	広報発行対策特別委員会
	18日	議会全員協議会 総務産業・社会文教常任委員会
	20日	議会運営委員会
25日	町例月現金出納検査	